

令和3年度 第3回学校運営協議会（議事録）

出席者（委員）

川田 裕、辻井 安喜、吉田 寛、橋本 裕揮、原 善輝

出席者（学校）

校長、教頭

1 校長挨拶

2 報 告

① 令和3年度 学校経営計画及び学校評価（駒井校長）

② 令和3年度 各科・系から報告(各科・系長)

③ 令和3年度 各分掌から(各分掌長)

3 協議

1) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

「3. 本年度の取組内容及び自己評価」

Q. 取り組み内容の中で、昨年度より下がっている部分についてですが、教員の授業見学についてどうしていますか。

A. 年2回行事予定に入れている。

その他として、10年目研修や初任者研修の授業見学も実施している。

ご意見

・見学した後、コメント書いてもらうようにしてはどうか。

Q. ストレスチェックの回答率が低いのはなぜですか。

また、数値結果は全職種の平均ですか。

A. 提出義務はなく、今年度よりオンラインでのアンケートになったことも7割を下回っていると思われる。

数値結果は、全職種の平均である。

また、オンライン授業対応でのストレスが増えているのではないか。

Q. 就職について、コロナ禍でのリモートなどでコミュニケーション不足から離職率が増えているのではないか。

A. そのようになっているのかもしれない。

今後4・5年間追いかけて検証する必要がある。

ご意見

離職率を考える必要はないのではないかと、最近転職サイトが充実しており、もっといい会社へ前向きな転職であるかもしれない。その時に、学校でも相談に乗ってもらえれば良いと思う。

Q. 入試希望倍率で、工科（工業科）で淀工だけ1倍を超えていたが日頃の指導が結びついているのではないかと。

工学系が落ち込んでいるが。

A. これから、上がる人が多いです。

Q. 3D-CADや3Dプリンタを使用して指導しているのは良いことだと思うが、一括で管理していますか

A. 各系（MER）で管理している

ご意見

今後、3Dプリンタなどで実験などに使える教材などを製作するのも将来に役立つと思います。

2) 令和4年度 学校経営計画及び学校評価（案）

「2. 中期的目標」（下方修正）

Q. インターンシップが2年間できていないが、どうしていかれますか。

A. コロナ禍で2年連続、受け入れてもらうのが難しい。何とか企業との繋がりを続けていきたい。

Q. 家庭学習の定着の手段として、ChromeBookの活用はどうか

A. なかなか組織として見えていない。

ChromeBookの活用は、今後の課題である。